

飛騨市まちづくりレシピ

まちづくりって特別なことじゃなく、みんなの暮らしがちょっと豊かになる活動。
飛騨市内で活動されているまちづくり団体を紹介していきます。
気になる活動があれば、気軽に参加してみませんか？

飛騨でプロドローンレーサーを育成したい！

飛騨市地域おこし協力隊 山崎 裕考



▲ドローンを語るいきいきとした表情！



▲農業用ドローン。大きな機体も飛ばします。



▲子どもたちも興味津々！

最近飛騨市でもよく聞くようになってきた「ドローン」。飛騨市の地域おこし協力隊「ドローン担当」として移住し、着任後約1年で法人化。この4月から「飛騨古川ドローンサーキット」をオープンさせ、ドローンレースのスクールも始めた山崎さんに今回はお話を伺いました。

山崎さんは北海道出身。「いろいろな経験をしたかった」と、様々な職を経験してきました。ドローンと出会ったのは2018年頃。当時はまだ認知度も低かったですが、ドローンでの撮影に興味を持ち、足を踏み入れたそうです。

実際にドローンに触れるようになると、撮影よりも飛ばすことそのものが楽しく感じ始めた山崎さん。そしてドローンレースと出会い、始めてから2～3か月後、初めて参加したレースでなんと2位の成績を収めます。「昔から指先は器用だったので、向いていたのだと思います。」そこからどんどんドローンの魅力にのめりこみ、自分で機体を作ったり、操作技術を磨いていきました。

そんな時に知人から「飛騨市でドローン担当の地域おこし協力隊を募集しているらしい」という話を聞きます。最初は興味本位で応募してみたところ、書類選考、面接と進んでいき、「必要とされているなら貢献したい」と移住を決めました。

移住後はまずドローンを知ってもらうことが重要と、市内各所で体験会を開催しました。一般の市民向けはもちろん、

ドローンの重要性が増している建設業界向け、農業関係者向けなど、様々な可能性を伝えるべく市内を飛び回っています。

また去年は「飛騨市空撮コンテスト」を企画し、全国から9組のドローン愛好家に飛騨市に来てもらい、市の魅力を伝える動画を作成してもらったコンテストも実施しました。

そして2022年1月には『(株)ドローンコンシェルジュ』を立ち上げ、『飛騨古川ドローンサーキット』を古川町杉崎にオープンしました。

「ドローンを広めるコンシェルジュとして一番大事なことは、みんなに正しく安全に楽しんでもらうために法律を守ること。とは言え、法整備が追いついていないところもあるので、日々勉強です。」今年の6月には機体の登録制度などもスタートするため、最新の情報にアンテナを張りながら、市内の様々な相談や質問に対応しています。

「まずは、このサーキットやスクールで、子どもたちにドローンレースの楽しさを知ってほしい。そして行く行くはプロドローンレーサーを輩出したいですね。他にも、ドローンを楽しむ大きなイベントをしたり、ドローンを活用した新しいビジネスで地元の雇用の創出に貢献していきたいです」と語ってくれた山崎さん。何よりドローン愛が深く、その楽しさを誰よりも感じている姿が印象的でした。ぜひ皆さんもサーキットに遊びに行ってみてくださいね。

基本情報

着任：2020年10月
活動場所：飛騨市内
主な活動：
ドローンを活用したまちづくり活動

▼飛騨古川ドローンサーキットはこんな感じ♪



▲親子で楽しめるドローン！

飛騨市のまちづくり最新情報はこちら▶

<https://www.city.hida.gifu.jp/site/hidaplus/>

